

経営比較分析表（平成30年度決算）

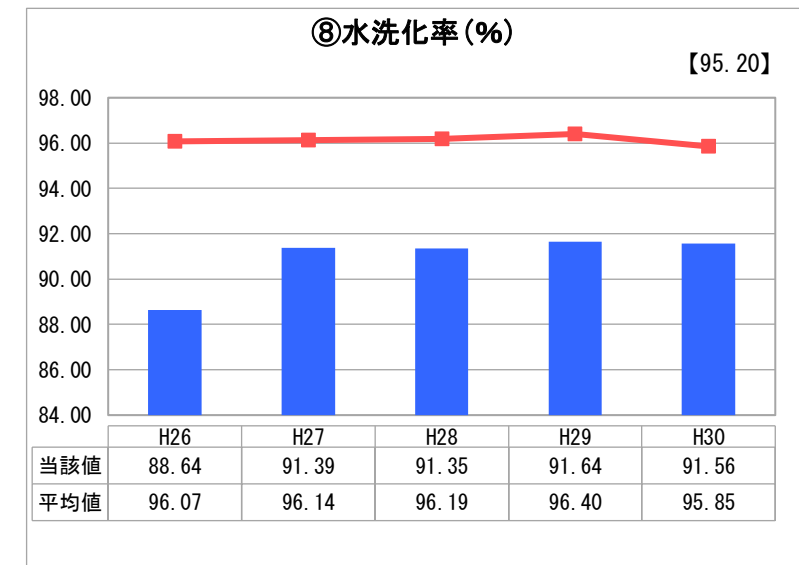
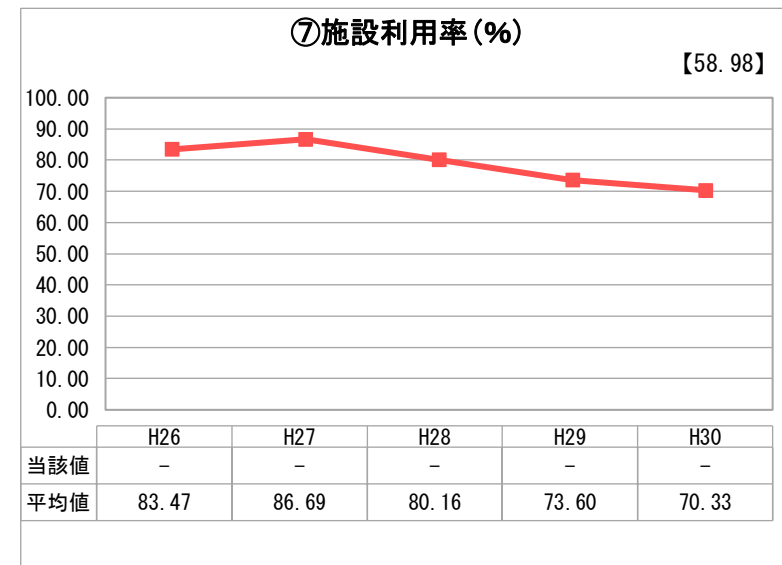
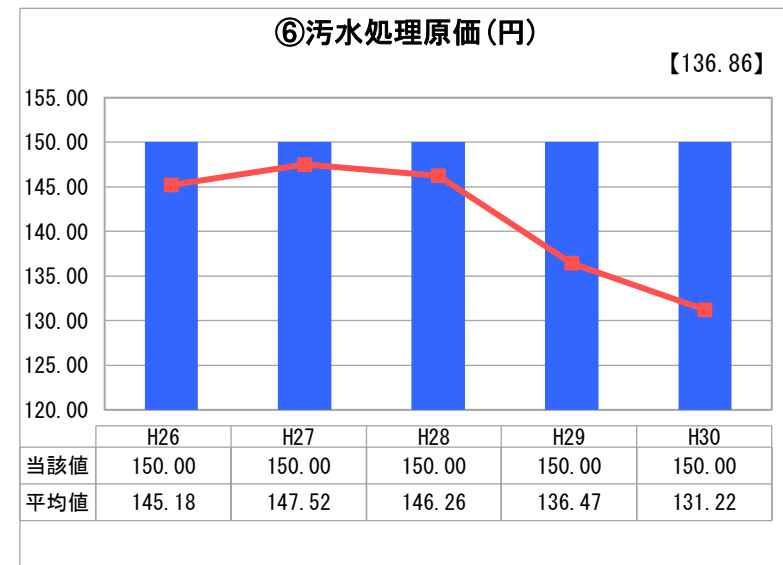
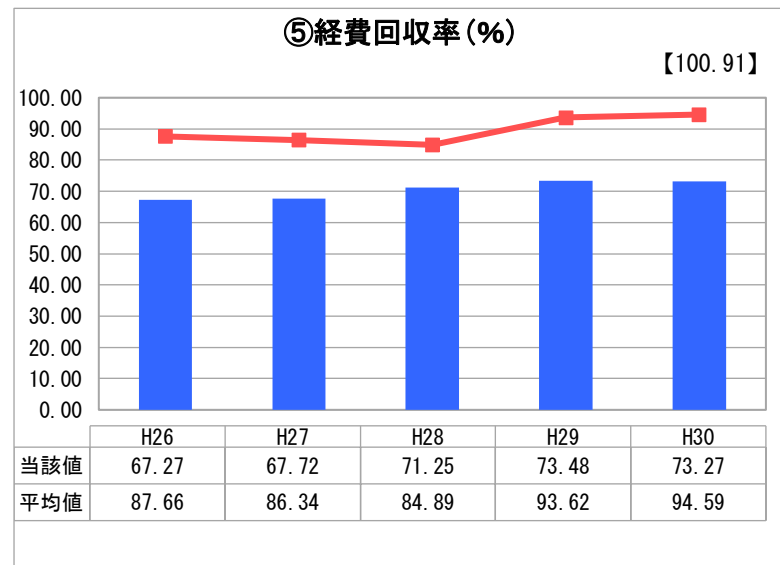
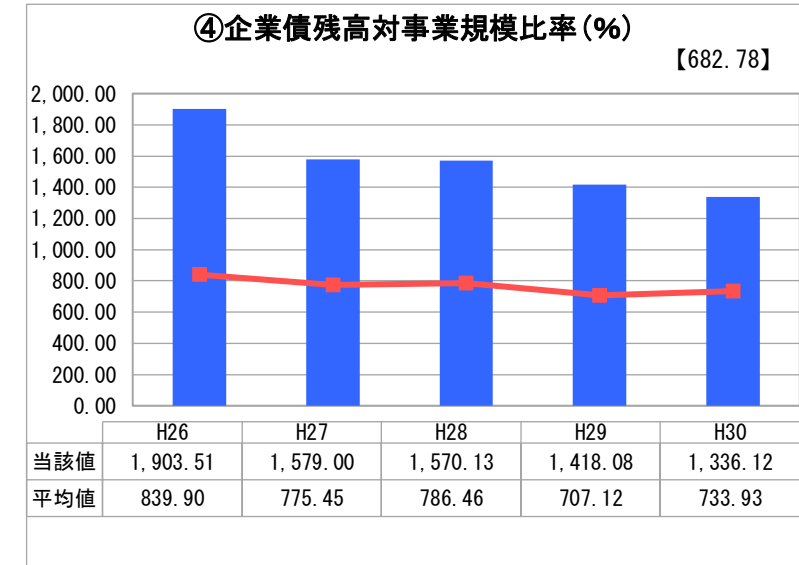
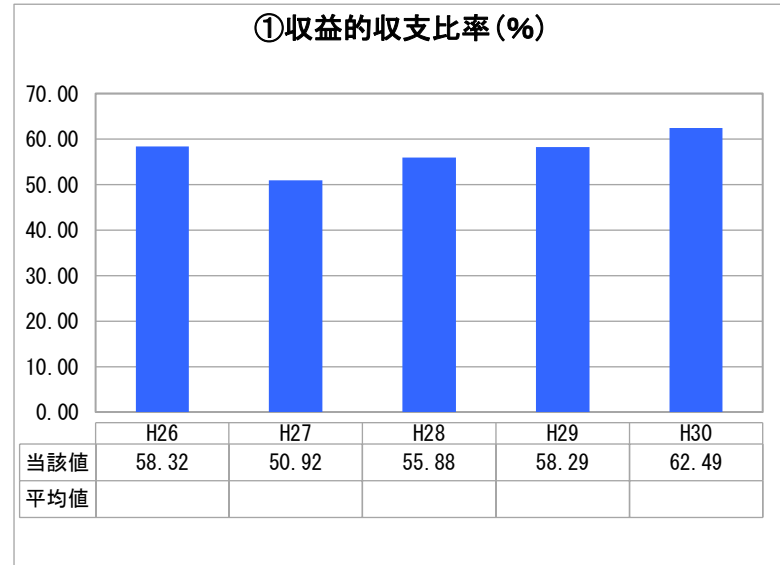
埼玉県 八潮市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	76.18	84.25	1,944

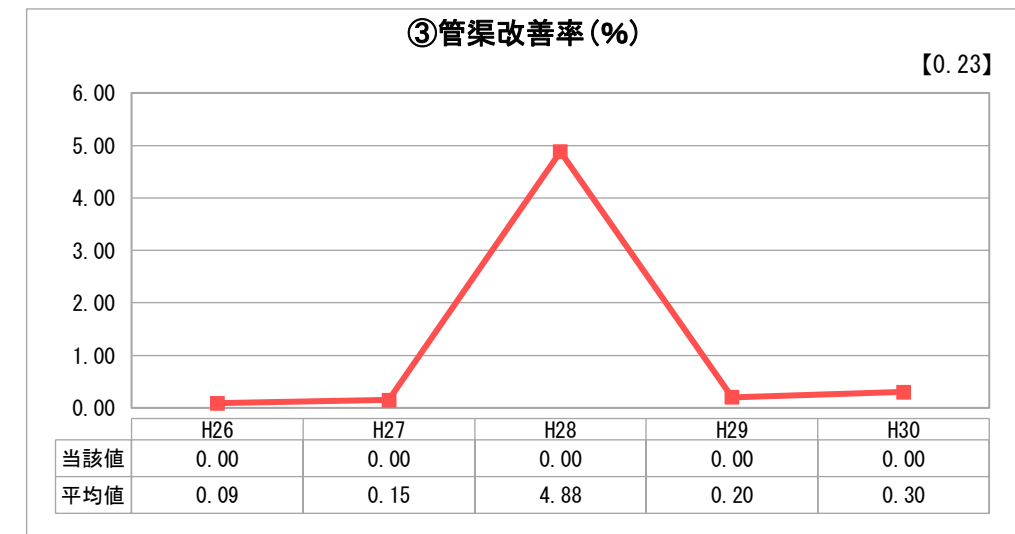
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
90,876	18.02	5,043.06
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
69,440	8.18	8,489.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

1. 収益的収支比率については、100%未満であるが、平成29年度と比較した場合に改善傾向にある。また、平成28年7月に使用料の料金改定や水洗化人口の増加等によって使用料収入は増加を続けており、経営改善に向けた取組みの成果が出ている。

4. 企業債残高対事業規模比率については、平成29年度と比較すると減少しているため改善傾向にあるが、類似団体の平均値と比較すると依然として高い数値となっている。その理由として、下水道建設のピーク時に借入を行った企業債の償還が続いていることが挙げられる。

平成28年度の使用料の料金改定等による改善に向けた取組みによって営業収益が増加しており、その結果として本比率が減少傾向となっている。

5. 経費回収率については、全国平均や類似団体平均と比較すると低い水準にあるが、使用料の料金改定等によって改善した水準が続いている。

8. 水洗化率については、全国平均や類似団体平均と比較すると低い水準にあるが、未接続世帯への戸別訪問等による啓発活動を継続的に実施しており、改善に努めている。

2. 老朽化の状況について

3. 管渠改善率については、現時点において法定耐用年数を経過した管渠はなく、更新投資額は少ない状況にある。

全体総括

現在も下水道の整備を進めていることから、収益は増加傾向にある。また、平成28年度の使用料の料金改定や水洗化率の向上を図ることで、経営の健全化に向けて取り組んでいる。

今後、経営の健全性・効率性を高めるために、地方公営企業法を適用し公営企業会計に移行することにより、資産等を正確に把握し将来の安定かつ効率的な経営を実現できるように事業を進めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。